

[議案 1 号]

第 5 5 期（2023 年度）事業報告

本会が第 5 5 期（2023 年 3 月 1 日～2024 年 2 月 29 日）に行った事業は次のとおりである。

I. 事業状況

- ① 研究発表および学術講演会の開催（定款第 4 条 1 号）
- ・ AJCPP2023 兼 第 62 回航空原動機・宇宙推進講演会
開催日 2023 年 3 月 15 日～18 日
場 所 金沢市文化ホール（ハイブリッド方式）
 - ・ 第 54 期定時社員総会および年会講演会
開催日 2023 年 4 月 13 日～14 日
場 所 日本科学未来館
 - ・ 第 34 回宇宙技術および科学の国際シンポジウム（ISTS）
開催日 2023 年 6 月 3 日～9 日
場 所 久留米シティプラザ（福岡県久留米市）
 - ・ 第 55 回流体力学講演会／第 41 回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム
開催日 2023 年 7 月 12 日～14 日
場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター
 - ・ 第 65 回構造強度に関する講演会
開催日 2023 年 8 月 8 日～10 日
場 所 島根県民会館
 - ・ 2023 年度「空の日・宇宙の日」記念特別講演会
開催日 2023 年 9 月 5 日
場 所 航空会館
 - ・ 国際航空科学会議エマージング・テクノロジー・フォーラム 2023
開催日 2023 年 9 月 10 日～15 日
場 所 京都工芸繊維大学、京都国際交流会館
 - ・ Asia Pacific Conference of Prognostics and Health Management Society 2023 (PHMAP2023)
開催日 2023 年 9 月 11 日(月)～14 日(木)
場 所 一橋大学 一橋講堂（東京）
 - ・ 第 19 回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト
開催日 2023 年 9 月 22 日～24 日
場 所 日本工学院専門学校蒲田キャンパス 片柳アリーナ
 - ・ アジア太平洋航空宇宙技術国際シンポジウム 2023 (APISAT-2023)
開催日 2023 年 10 月 16 日(月)～18 日(水)
場 所 Lingshui, China
 - ・ 第 67 回宇宙科学技術連合講演会
開催日 2023 年 10 月 17 日～20 日
場 所 富山国際会議場、ANA クラウンプラザホテル富山（富山市）
 - ・ 第 61 回飛行機シンポジウム
開催日 2023 年 11 月 15 日～17 日
場 所 北九州国際会議場（北九州市）
 - ・ 第 28 回スカイスポーツシンポジウム
開催日 2023 年 12 月 2 日
場 所 都立産業技術高等専門学校

さらに、日本航空宇宙学会主催の支部関連の行事を次のとおり行った。

- | | | |
|--|-----------------|----------|
| ・ 西部支部第 51 期支部総会・特別講演会 | 2023. 3. 6 | (西部支部主催) |
| ・ 中部支部第 66 期特別講演会 | 2023. 3. 8 | (中部支部主催) |
| ・ 北部支部 2023 年講演会ならびに
第 4 回再使用型宇宙輸送系シンポジウム | 2023. 3. 21, 22 | (北部支部主催) |
| ・ 関西支部第 69 期総会・特別講演会 | 2023. 4. 21 | (関西支部主催) |

以上のほか、関連学術団体との共催講演会等を次のとおり行った。

- | | | |
|---------------------|-----------------|-----------------|
| ・ 第 8 回理論応用力学シンポジウム | 2023. 3. 10 | (日本学術会議主催) |
| ・ 安全工学シンポジウム 2023 | 2023. 6. 22, 23 | (本会共催) |
| ・ 第 66 回自動制御連合講演会 | 2023. 10. 7～8 | (計測自動制御学会他との主催) |

・第31回衛星設計コンテスト

2023. 11. 25

(日本機械学会他との主催)

② 会誌その他図書の刊行（定款第4条2号）

- ・学会誌「日本航空宇宙学会誌」を次のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数	発行年月日	巻	号	発行部数
2023年3月5日	71	3	3,400部	2023年9月5日	71	9	3,400部
2023年4月5日	71	4	3,400部	2023年10月5日	71	10	3,400部
2023年5月5日	71	5	3,400部	2023年11月5日	71	11	3,400部
2023年6月5日	71	6	3,400部	2023年12月5日	71	12	3,400部
2023年7月5日	71	7	3,400部	2024年1月5日	72	1	3,400部
2023年8月5日	71	8	3,400部	2024年2月5日	72	2	3,400部

- ・和文論文集「日本航空宇宙学会論文集」をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）によるオンラインジャーナルとして、次のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行年月日	巻	号
2023年4月5日	71	2	2023年10月5日	71	5
2023年6月5日	71	3	2023年12月5日	71	6
2023年8月5日	71	4	2024年2月5日	72	1

- ・国際論文集“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences”をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）によるオンラインジャーナルとして、次のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行年月日	巻	号
2023年3月4日	66	2	2023年9月4日	66	5
2023年5月4日	66	3	2023年11月4日	66	6
2023年7月4日	66	4	2024年1月4日	67	1

- ・和文オンラインジャーナル誌「航空宇宙技術」をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）に随時発行した。
- ・英文オンラインジャーナル誌“Transactions of the Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Aerospace Technology Japan”をJ-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）に随時発行した。

③ 研究および調査（定款第4条3号）

- ・航空宇宙分野の研究公募に対応して、必要な検討・調整を行った。

④ 関連学会等との連絡および協力（定款第4条4号）

- ・関連学術研究団体の行事に協力し、講演会等の事業を協賛・後援し、連携強化に努めた。

⑤ その他目的を達成するために必要な事業（定款第4条5号）

- ・第32回（2022年度）日本航空宇宙学会賞を次のとおり表彰した。

論文賞（2件）：「Measurement of Unsteady Aerodynamic Characteristics of a Heaving Wing in a Low Reynolds Number Flow」

岡本正人（金沢工業大学）、深津翔太（金沢工業大学）、佐々木大輔（金沢工業大学）

「Initial Achievements of Hayabusa2 in Asteroid Proximity Phase」

津田雄一（宇宙航空研究開発機構）、佐伯孝尚（宇宙航空研究開発機構）、照井冬人（宇宙航空研究開発機構）、中澤暁（宇宙航空研究開発機構）、吉川真（宇宙航空研究開発機構）、渡邊誠一郎（名古屋大学）、はやぶさ2プロジェクトチーム

技術賞（該当なし）

奨励賞（3件）：小澤 雄太「Aeroacoustic Fields of Supersonic Twin Jets at the Ideally Expanded Condition」
多々良 飛鳥「Scaling Law for Spin Deployment of Large-Membrane Structures Acceptable for Geometrical Mismatch」

津島 夏輝「幾何学的非線形静的空力弾性におけるマルチフィジリティ解析」

- ・第1回航空宇宙技術遺産を次のとおり認定した。

二宮忠八の動力飛行研究

STOL 実験機「飛鳥」で実証した低騒音短距離離着陸技術

日本初の純国産ジェットエンジン「ネ-20」技術

「はやぶさ」による世界初の小惑星サンプルリターン技術

技術試験衛星VII型で実証した世界初の自動自律ランデブ・ドッキング技術

月の縦孔・地下空洞を発見したSELENE「かぐや」地形カメラによる観測ならびにデータ解析技術

- ・第2回航空宇宙技術遺産に向けて部門・一般から技術遺産候補を公募した。また選考を行った。
- ・第33回（2023度）日本航空宇宙学会賞の選考を行った。
- ・第23回（2023度）日本航空宇宙学会学生賞の受賞者を決定し、受賞者表彰を行った。
- ・フェロー・名誉会員の選考を行った。次年度の選考に向けて内規修正に関する検討を行った。
- ・月刊メールマガジンの会員向け刊行やTwitterでの情報提供など、会員サービスの向上に努めた。
- ・DX推進による会員サービスの一層の向上、学会業務の効率化検討を実施した。
- ・学会関係サーバの移行準備を行った。
- ・ジュニア会員制度の運用を開始した。また、ジュニア会員による講演会発表に関する検討を実施した。
- ・宇宙科学技術連合講演会において中高生による講演があった。
- ・他の学協会、産業界や政府関係機関との連携を強化した。（例：JRSと合同で進めているTF活動の推進）
- ・男女共同参画を推進した。
- ・事務局労働環境の整備を行った。
- ・宇宙共創ビジネスアワードの創設に関する準備を行った。
- ・理事会関連委員会として宇科連改革委員会を設置し、宇科連の将来像に向けた検討を開始した。

II. 会議等に関する事項

(1) 理事会

第55期(2023年度)の理事会は、2023年4月14日(金)に開催された第610回理事会から、2024年4月8日(月)に開催された第626回理事会まで、計17回開催した。

(2) 代議員

第56期代議員は、正会員による選挙を行った。

(3) 社員総会

第55期(2023年度)定時社員総会の開催日および会場について、2024年4月19日(金)に、&BIZ Conference 日本橋室町三井タワーで開催することを決定した。

III. 会員の異動状況

資格 摘要	正会員	内・永年会員 フェロー会員	学生会員	名誉会員	賛助会員 (個人・団体)	支部賛助会員 (個人・団体)	個人会員計 (除賛助会員)
今期末 2024年2月29日現在	3,307名	(290名) (167名)	998名	53名	0名 71団体	0名 62団体	4,433名 (ジュニア75名含む)
前期末 2023年2月28日現在	3,331名	(277名) (166名)	1,293名	54名	0名 72団体	0名 63団体	4,678名
増減数	△24名	(13名) (1名)	△295名	△1名	0名 △1団体	0名 △1団体	△245名

IV. 役員等に関する事項

職 名	氏 名	担 当 職 務	現 職
会 長	森田 泰弘	代表理事 (法人統括)	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授
筆頭副会長	中須賀 真一	代表理事 (会長補佐)	東京大学 教授
副会長	福永 美保子	業務執行理事 (会長補佐)	IHI エアロスペース 部長
庶務理事	田中 宏明	業務執行理事 庶務 (筆頭)	防衛大学校 教授
同	永井 大樹	庶務 (北部)	東北大学 流体科学研究所 流動創成研究部門 教授
同	笠原 次郎	庶務 (中部)	名古屋大学 未来材料・システム研究所 教授
同	岩佐 貴史	庶務 (関西)	大阪公立大学 教授
同	坂東 麻衣	庶務 (西部)	九州大学大学院 工学研究院 航空宇宙工学部門 准教授
同	小川 美奈	庶 務	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 主任研究開発員
同	鈴木 俊之	庶 務	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 研究領域主幹
同	大塚 聡子	庶 務	宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部門 主幹研究開発員
同	旭 睦	庶 務	(株) IHI 人事部 主幹
会計理事	丸 祐介	会 計	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系 准教授
同	桜井 誠人	会 計	宇宙航空研究開発機構 研究開発部門 研究領域主幹
広報理事	石村 康生	広 報	早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授
編集理事	下田 孝幸	編集 (会 誌)	崇城大学 工学部 宇宙航空システム工学科 教授
同	野々村 拓	編集 (論文集)	名古屋大学 大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 教授
監 事	牧野 好和	監 査	宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 研究領域主幹
同	伊藤 健	監 査	宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 航空イノベーション統括

以上